

Gaia-X

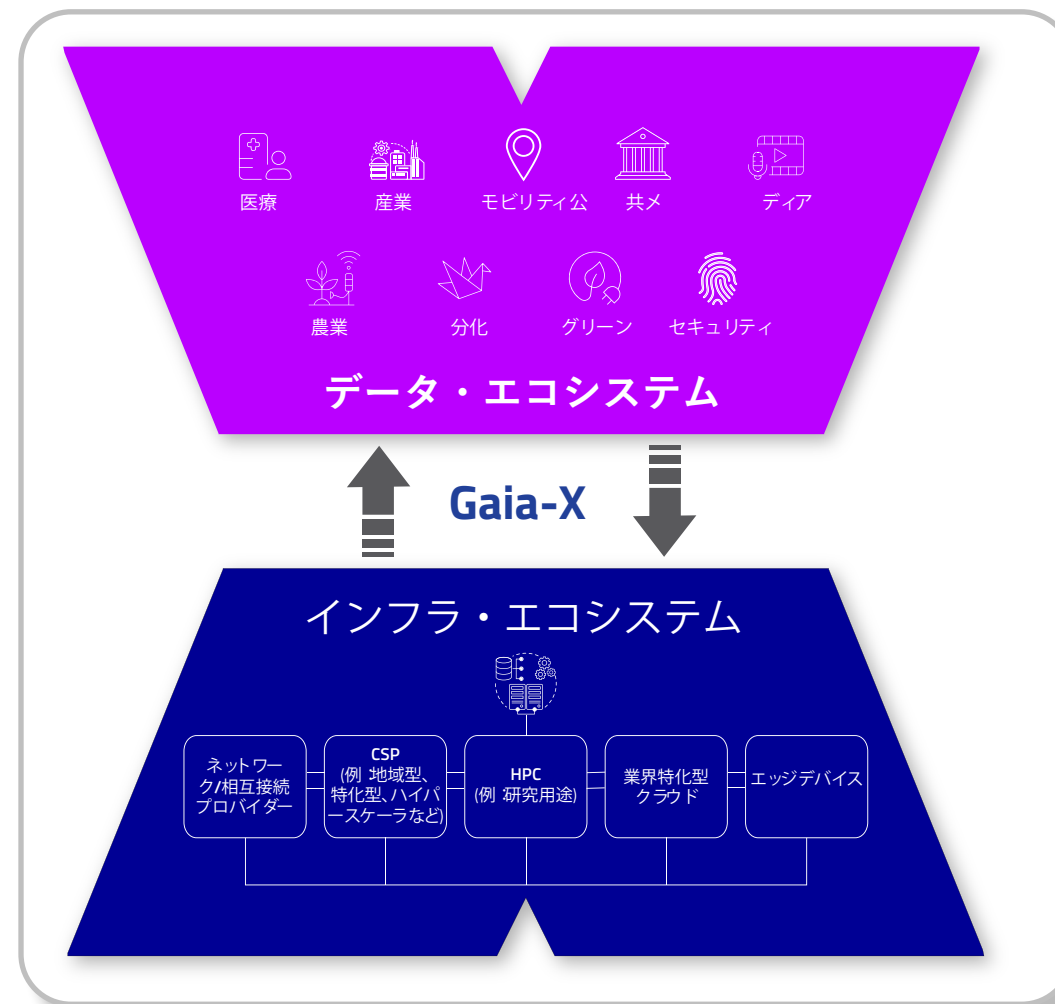
欧州データ・クラウド協会
AISBL



共に連邦型で安全な データインフラへ

Gaia-X への需要

Gaia-Xは現在のSplit-Xモデルをつなぎます。Gaia-X の信頼性の高い環境は、分断されたデータおよびインフラのエコシステムの接続を可能にします。



データスペースに対する需要とクラウドサービスおよびICT提供事業者の役割

データ交換は、1960年代にエド・ギルバート氏が米軍のサプライチェーン向けに電子通信を導入したことにより始まりました。EDIは1990年代初頭に広く使用されるようになり、「1対1」の交換によって初期のグローバル化を支える重要な技術となりました。一方で、過去20年間に登場したデジタルプラットフォームは、「少数対少数」のデータ交換を可能にし、個人間のデジタルベースの関係を前例のないレベルにまで引き上げました。

それでもなお、非中央集権型モデルにおいて様々なデータソースを接続することは依然として困難な課題

です。個人データの管理に対する信頼を高めるためにGDPRが制定された現在においても、その難しさは変わっていません。

現在では、産業用機械データの分野におけるデータマネジメントも進展しており、「多対多」のデータ交換を可能にするデータスペースの構築が進められています。この課題は非常に広範なものです。標準化と信頼フレームワークにより、データの発信者と利用者を自動的に識別・認証し、追加の手作業を伴うことなくデータスペースに接続することが可能になります(手作業はスケーラビリティを損なうためです)。ヨーロッパでは、データガバナンス法およびデータ法が、主権的

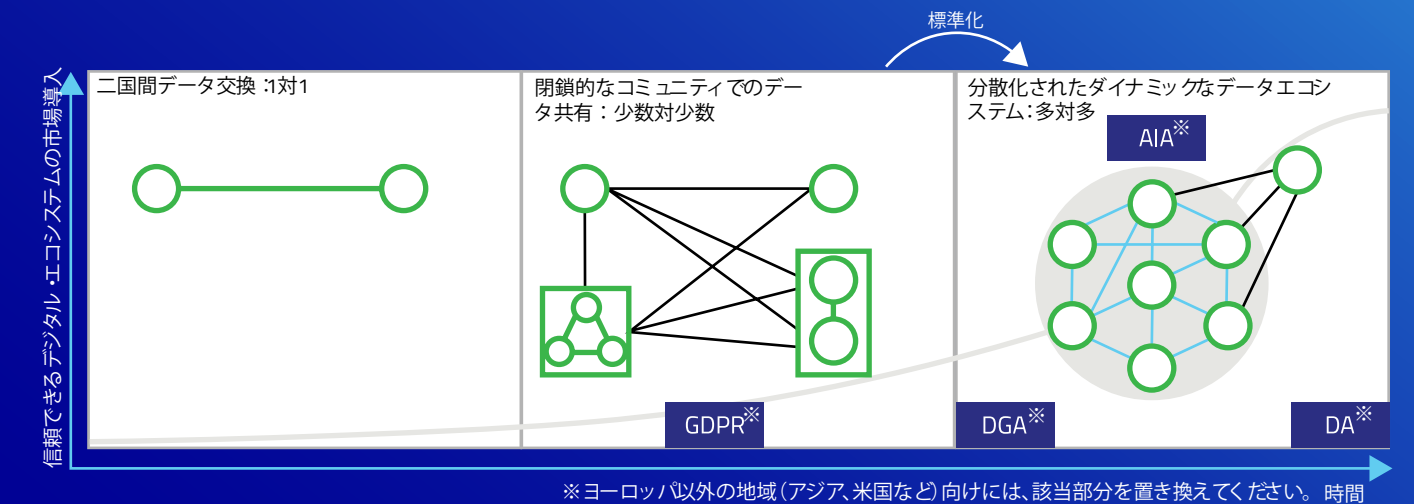
なデータ管理を可能にするGaia-Xコンプライアンス文書の枠組みを提供しています。

同様の政策や規則は、各国の法制度に基づいてヨーロッパ以外の地域でも策定される予定です。このように、データスペースの相互運用性は、データ提供者がアクセス権を制御しながらも、グローバルにデータを収益化できる実践的な手段となります。

ただし、データマネジメントにおいてしばしば見落とされる点として、「データは虹の上を流れてくるわけではない」という事実があります。つまり、いかなるデータサービスも、あるいはデータそのものも、動作するため

には外部のインフラサービスを必要とするのです。

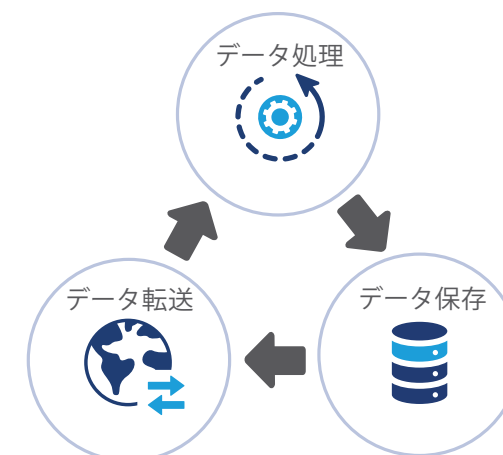
したがって、相互運用可能なデータスペースは、その性質上分散型であり、フェデレーテッド(連邦型)のクラウド・エッジインフラの上に構築されています。設計上、これらのデータスペースは多様な異質なデータソースを相互に接続し、ユースケースを中心に臨界質量を形成します。その結果、これらのデータスペースは、グローバルなデータマネジメントの未来を担う存在となり、AI法の枠組みの中で、より高度な人工知能ソリューションの基盤となることが期待されています。



データ主権および信頼できるデータの取り扱いを実現するうえで、クラウドサービスおよびICTプロバイダーの役割は極めて重要です。

- データは、サービス(すなわち、アルゴリズムの実行インスタンス)を通じて処理・保存・転送されます。
 - ・ サービスが実行されない限り、データ自体が自ら複製されたり転送されたりすることはありません。
 - ・ データを処理・保存・転送するアルゴリズムは、データ自体に埋め込むことが可能ですが、それを解釈し実行するには、依然として外部のサービスが必要です。
- 「クラウド」とは、通常、他人のサーバーのことを指します。自らの建物内でインフラをオンプレミスで運用していない限り、そうなります。
- こうしたデータの操作が可能になるのは、CSPおよびICTサービスが基盤として存在しているからです。

データ操作の主な3つの分類、すなわち、



は、基盤となるCSPおよびICTサービスに依存しています。



Gaia-X とは何か？

Gaia-Xは、消費者と提供者が信頼性・透明性・安全性のある環境でビジネスを行うことができる、中立的なグローバルデジタルエコシステムを提供します。
これは、データプライバシー、域外法、セキュリティに関して不透明な環境で運用され、ベンダーロックインを強いるような独自プラットフォームに対する、競争力のある代替手段を提供するものです。

Gaia-X標準は、ITシステム間の相互運用性をロックインなしで強化します。

これにより、分散型クラウドおよびデータリソース間の革新的な相互接続が可能となり、ヨーロッパのデジタル規制に準拠しつつ、新たなビジネス機会を切り拓くことができます。

この標準を採用することで、組織は技術的な詳細に煩わされることなく、エコシステム型のビジネスバリューチェーンを容易に開始し、投資を将来にわたって保護しながら、デジタル主権を維持することができます。

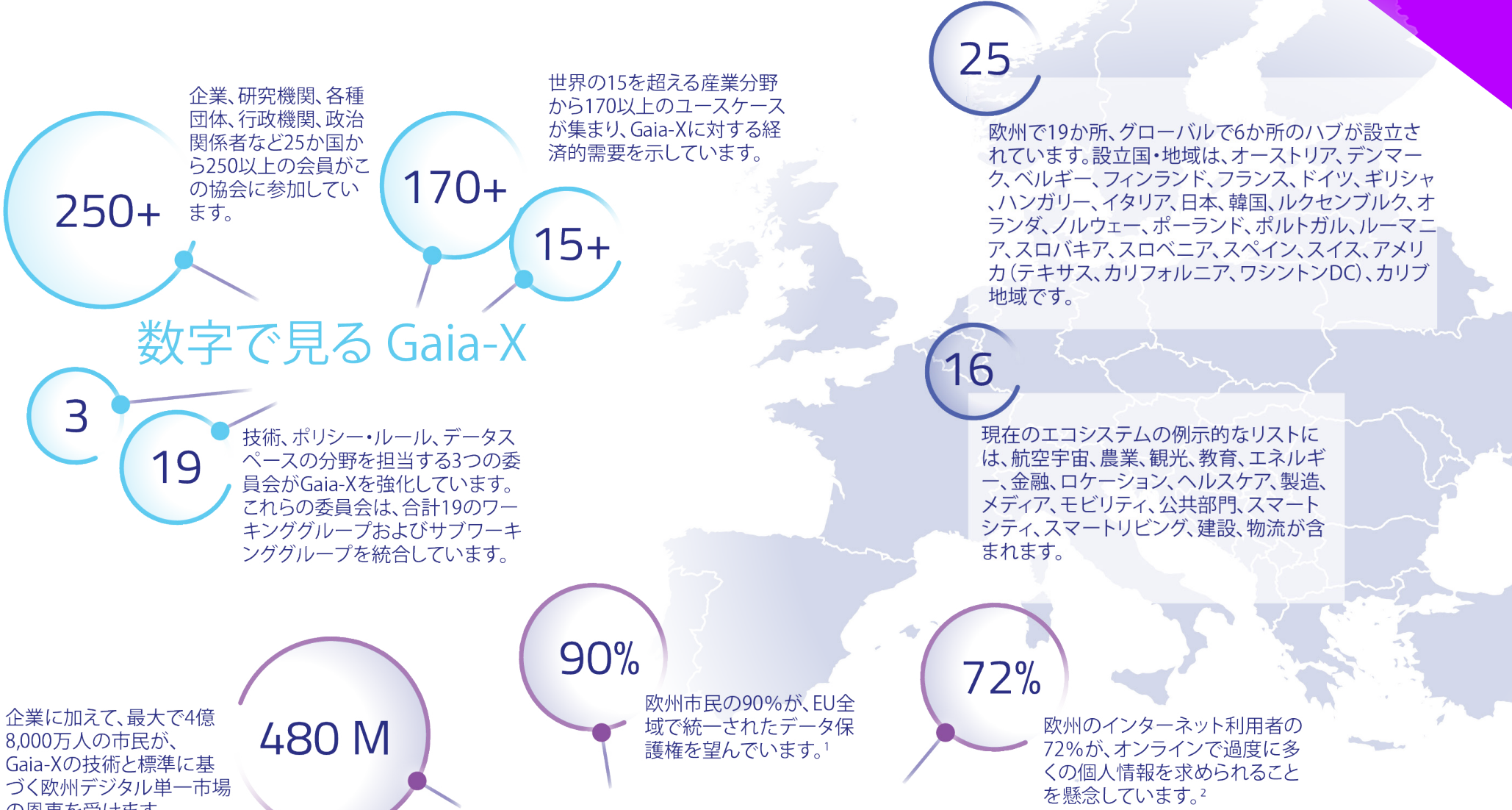


一連の仕様、規則、方針および検証の枠組みを策定することによって、信頼できる連邦型のデータおよびインフラのエコシステムを可能にする事実上の標準を創出します。



信頼できる分散型デジタル・エコシステムを可能にします。

数字で見るGaia-X



1 European Commission (06.05.2020): <https://eur-lex.europa.eu/legal-content/EN/TXT/HTML/?uri=CELEX:52015DC0192> [last retrieved on 28.10.2020]
2 ibid
3 European Commission (19.02.2020): https://ec.europa.eu/commission/presscorner/detail/de/fs_20_283 [last retrieved on 27.10.2020]
4 European Commission: https://ec.europa.eu/info/strategy/priorities-2019-2024/europe-fit-digital-age/european-data-strategy_de [last retrieved on 28.10.2020]

Gaia-X の需要

Gaia-X の価値提案			エンドユーザー		スタートアップ	クラウドおよびICTプロバイダー		研究		信頼および規制		協会
			大規模組織	中小企業		システムインテグレーター	ソフトウェアおよびクラウドプロバイダー	RTO／大学	データ駆動型プロジェクト	CAB	政府および機関	
1	エンドユーザーのデジタル化	デジタルビジネスモデルの加速	✓	✓		✓		✓	✓		✓	
2		市場の自由と柔軟性（ロックイン効果の排除）	✓					✓	✓			
3		設計段階からの相互運用性と将来性のある投資	✓		✓	✓	✓		✓			
4	エコシステムの構築	分散型デジタルエコシステムを統治するパラダイム	✓						✓		✓	
5		準拠したデータおよびクラウドサービスへのアクセスによる迅速な立ち上げ	✓	✓	✓	✓			✓			
6		行動規範の自動検証					✓			✓		✓
7	イノベーション	組み合わせ可能なシステムの構築を促進	✓		✓	✓	✓		✓			
8		安定したサポート付きの技術成果物				✓	✓					
9	営業・マーケティング	パートナーシップの創出（入札、戦略的連携など）	✓		✓	✓	✓	✓				
10		既存資産の収益化（新たなチャネルと顧客を通じて）	✓	✓			✓					
11		新たなビジネス機会			✓	✓	✓		✓	✓		
12		市場でのリーダーシップ				✓		✓				✓
13	地政学	技術的に担保されたデジタル主権	✓						✓			
14		政治主導の産業・経済ビジョンの実行									✓	✓

Gaia-X戦略計画の概要

Gaia-Xの戦略は、信頼性、相互運用性、そしてデジタル主権を推進する4つの基本的な柱に基づいて構築されています。これらの柱は、連邦型かつ安全なデータ・エコシステムの成功を確実にするためのものです。この4つの柱は、それぞれ「エンドユーザーによる導入」「市場の受容性」「グローバル展開」「エコシステムの成長」に焦点を当てており、ヨーロッパおよび国際的なデータスペースの将来に向けた、持続可能で拡張性のある基盤を構築します。

1

エンドユーザー採用戦略

- コミュニティがリファレンス販売を行えるように、リファレンス・ストーリーの数を増やします。
- 欧州においてGaia-Xイニシアティブを支援し、提唱する政策立案者を確保します。
- Gaia-Xのルールを通じて主権を維持しながら、ハイパースケラーを含むクラウドサービスプロバイダーと連携します。
- まだ活動していない欧州各国にハブを設立します。

2

技術の市場適合性

- DSBAおよびFOSSコミュニティとの連携を強化します。
- EUおよび加盟国レベルで資金提供を受けているプロジェクトのうち、機能強化を目的としたライトハウス・プロジェクトを含むものとのパートナーシップを強化します。
- Gaia-Xの事実上の標準を活用し、連邦型クラウドインフラに基づくデータスペースをどのように実現できるかを示す、定期的な詳細解説セッションを提供します。
- 「Powered by Gaia-X」の検証を行います。

3

グローバル化戦略

- 世界各地域で国際会員と連携し、欧州域外の規制との整合を図ります。
- 各地域におけるGaia-Xの普及促進のために、Gaia-Xハブを活用します。
- 他地域が自地域向けラベルの定義に参加できるようにします。
- Gaia-Xに関する認知度を高めるため、国際的なイベントに参加します。
- 世界的な認知度向上のため、アナリストとの関係を強化します。

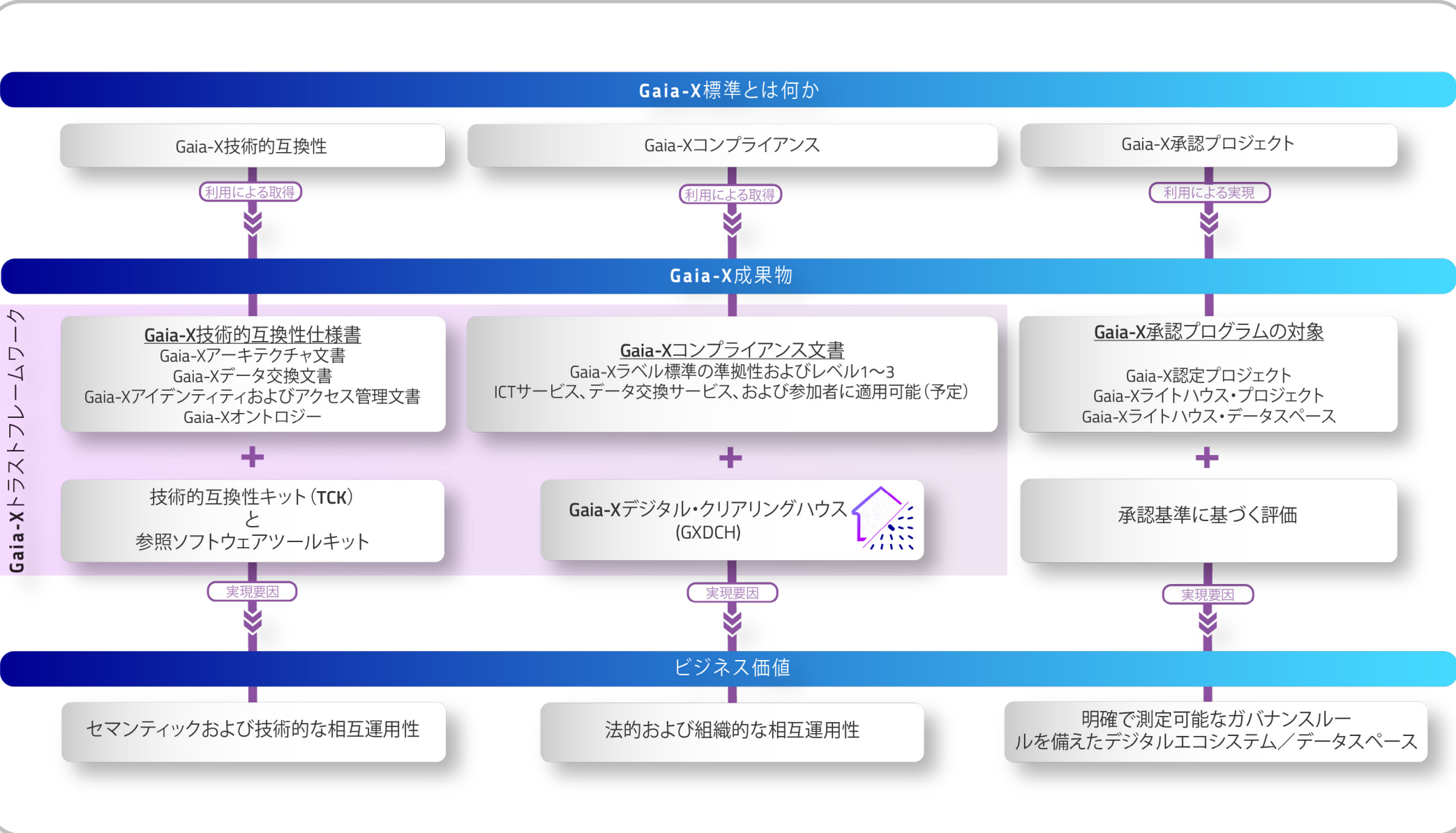
4

GAIA-Xエコシステムの成長

- 既存会員に対してメリットを示します。
- Gaia-Xに参加する組織に付加価値を提供します。
- グローバルな展開のために大企業と連携します。
- 革新的なソリューションのためにスタートアップや中小企業と連携します。
- 技術的卓越性のために開発者や大学と連携します。
- 委員会およびアジャイルスプリントの効率を最大化します。
- 会員数を増やします。

市場を先導する成長志向・サービス志向のチームによって推進されています

Gaia-Xトラストフレームワーク



Gaia-Xトラストフレームワークは、以下の3つの主な目的を念頭に設計された包括的なシステムです。1つ目は、ユーザーがさまざまな管轄やドメインにおいて、十分な情報に基づいた意思決定を行えるようにすること、2つ目は、地域や産業ごとの固有のニーズに対応すること、そして3つ目は、自動化されたコンプライアンスプロセスの基盤を築くことです。

信頼（トラスト）はこのフレームワークの基本的な側面であり、他者の約束を履行する能力に関するリスクを評価する意思決定者による好意的な反応として定義されます。信頼に関する意思決定は微妙であり、さまざまな要因の影響を受けます。Gaia-Xフレームワークは、リスク評価のための方法論と技術仕様を提供します。

相互運用性もまた重要な側面であり、組織的および意味的レイヤーに焦点を当てています。このフレームワークは、透明性、開放性、自己決定、プライバシー、および相互運用性といったヨーロッパの価値を、機械的に処理可能な情報へ変換するためのオントロジーと論理ルールを提供します。

ガイドラインは、ポリシー策定者と利用者の両方に提供されます。ポリシー策定者は、評価スキームと基準を定義し、ヨーロッパの価値および法令への適合を確保します。利用者は、評価を申請し、基本的な適合から高度なサイバーセキュリティやデータ処理制限に至るまで、さまざまな適合レベルに応じてサービスや製品を調達することができます。



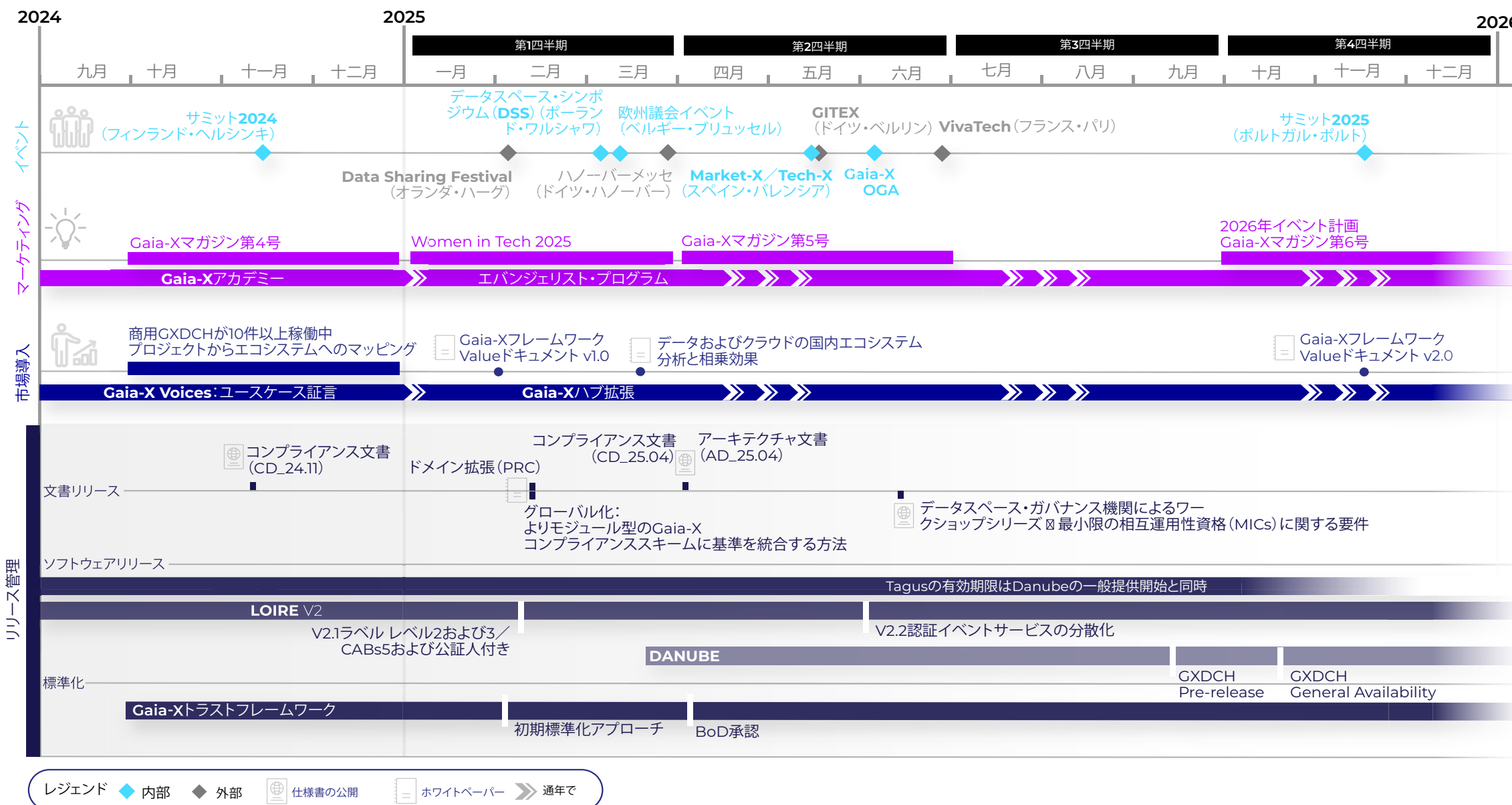
Gaia-Xアカデミー

Gaia-Xアカデミーは、Gaia-Xイニシアチブに関する身近な教育を提供するために設立され、会員・非会員を問いません。当アカデミーのコースは様々な専門レベルに対応し、基礎的な知識から深い技術的洞察までを提供します。

カリキュラムは、Gaia-Xの基礎的な理解から上級レベルまで幅広く、データエコノミー、フレームワーク構造、技術的な構成要素などの側面をカバーしています。参加者は、Gaia-Xの導入をサポートするために必要な技術的能力を身につけ、関連するイニシアチブをリードする能力を得ることができます。さらに、このアカデミーではGaia-Xアーキテクチャの詳細な分析を行い、参加者が準拠したソリューションを設計し、ビジネス成果を効果的にサポートできるようにします。



Gaia-Xロードマップ 2024



Gaia-X エバンジェリスト・プログラム

Gaia-X エバンジェリスト・プログラムは、Gaia-Xの使命とビジョンに関する知識や情熱を、より広いコミュニティと共有しようとする意欲的な個人を支援するために設計されています。エバンジェリストは、情報を広め、コミュニティを築き、関与と成長を促進する熱心な支援者です。エバンジェリストは、私たちのメッセージの到達範囲を拡大し、イノベーションを促し、ソリューションの導入を推進するうえで重要な役割を果たします。

Gaia-Xエバンジェリスト・プログラムは、Gaia-Xの成果物に対する認知を高め、市場への広範な採用を促進し、活発なコミュニティを構築することを目的としています。この取り組みは、Gaia-Xのビジョンや目標に賛同する個人や組織の増加に伴い、メンバー数の増加や、ワーキンググループおよびスプリントへの積極的な参加という形で表れることになります。

このプログラムは、Gaia-Xを推進し、その発展と業界内での影響力の強化に貢献する支援者のネットワークを構築することを目指しています。



Gaia-Xラベル

Gaia-Xラベルは、透明性、データ保護、セキュリティ、相互運用性、ポータビリティ、持続可能性、欧州管理 (European Control) に関するさまざまな基準をクリアしたことを示す信頼の証です。



Gaia-X標準準拠

サービスまたは製品の提供は、透明性、セキュリティ、相互運用性、移植性、持続可能性に関するすべての必須基準を満たす評価に合格した際に、Gaia-X標準準拠として認証されます。特定の法域や産業分野に限定されるものではありません。

価値: 提供者と消費者は、収集された情報に基づいて、十分に情報に基づいた判断および教育された判断を行うことができ、欧州の価値を示すことができます。

Gaia-Xラベル レベル1

サービスまたは製品の提供は、Gaia-X標準に準拠し、さらに個人データ保護に関する欧州の追加規則を満たしている場合、Gaia-Xラベル・レベル1として認証されます。

価値: Gaia-X標準への準拠に加えて、提供者と消費者は、欧州のデータ保護規則を順守するという相互の宣言を信頼することができます。

Gaia-Xラベル レベル2

サービスまたは製品の提供は、Gaia-Xラベル・レベル1であり、さらにサイバーセキュリティに関連する追加の基準を満たし、顧客のデータを欧州経済領域 (EEA) 内でのみ処理および共有できるオプションを備えている場合、Gaia-Xラベル・レベル2として認証されます。

価値: Gaia-Xラベル・レベル1に加えて、サイバーセキュリティ基準は公正な第三者によって検証され、データはEEA内でのみ処理することができます。

Gaia-Xラベル レベル3

サービスまたは製品の提供は、Gaia-Xラベル・レベル2であり、消費者のデータが欧州経済領域 (EEA) 内でのみ処理および共有され、かつサービス提供者の本社および主要な事業所が欧州経済領域 (EEA) 内に所在している場合、Gaia-Xラベル・レベル3として認証されます。

価値: Gaia-Xラベル・レベル2に加えて、データはEEA内でのみ処理され、EEA域外の関係者がアクセスすることはできません。

	適合性	レベル1	レベル2	レベル3
サービスまたは製品の宣言	✓	✓	✓	✓
検証済みの方法 (eIDASなど) による署名	✓	✓	✓	✓
GXDCHによる自動検証	✓	✓	✓	✓
GXDCH*による自動検証	✓	✓	+	+
データ交換ポリシー	✓	✓	✓	✓
認証ラベルロゴ		✓	✓	✓
EU法によるデータ保護		✓	✓	✓
CABによる手動検証			✓	✓
EU域内のプロバイダー本社				✓

*すべての基準が自動化できるわけではないが、「+」はエビデンス発行者の自動検証を意味する (Standard & CAB)

Gaia-X デジタル・クリアリングハウス (GXDCH)

What(内容) = Gaia-Xのクリアランスの提供 **Why(理由) = Gaia-Xのワンストップ拠点**

1. GXDCHはGaia-Xルールの検証ノードです。

2. Gaia-Xのコンプライアンスを取得し、Gaia-Xのエコシステムの一員となるための主要な場所です。

3. GXDCHは、市場運営者によって運営される非独占的で交換可能な複数のノードであり、Gaia-Xフェデレータとして機能します。

4. Gaia-Xレームワークのサービス (強制および任意) を運営・管理し、コンプライアンスを達成し、Gaia-X導入企業のオンボーディングをサポートします。

5. 外部認証のためのCAB (Conformance Assessment Bodies)、(eIDASのような) アイデンティティ検証、およびGaia-Xが定義するその他のTDS (Trusted Data Sources) を含む外部のTA (Trust Anchors) と統合します。
1. 各GXDCHは、(Gaia-Xの単独ガバナンスの下で) Gaia-X準拠を達成するために必要な強制的要素を実施するための公共サービスを提供しなければなりません。

2. 各GXDCHは、(Gaia-Xのガバナンスから外れて) Gaia-Xの拡張採用をサポートするサービスを提供 (または再販) することができます。

3. Gaia-X採用者 (ユーザー、プロバイダー、フェデレーター) であれば、どのGXDCHを使用しても、コンプライアンスを取得し、フェデレーションに参加し、フェデレーター (または追加サービス) になることができます。

4. GXDCHは、デマンドとオファーの集中とマッチングを促進するGaia-Xサービスのワンストッププレイスとして機能します。

How(方法) = Gaia-Xフレームワークの運用化

1. Gaia-X フレームワークには、必須のSWコンポーネント (「コンプライアンス」を制御するもの) とオプションのSWコンポーネント (GXツールセットと呼ばれるもの) があります。

2. 強制コンポーネントのコードは、GXに準拠するために、強制検証を提供するサービスに組み込まれなければなりません。

3. これらのサービスは、誰でもアクセスできる物理的なコンピュート・ノードで実行されなければなりません。

4. 各ノードは、Gaia-Xと定義し、Gaia-Xが承認した規則に従って、サービス・プロバイダーによって運営されなければなりません。

5. Gaia-Xはいかなるノードのオペレーターでもありませんが、強制的なサービスの運用のためにオペレーターを管理しています。

6. Gaia-Xが定義する要件に適合し、Gaia-Xが定義する必要な特性を備えた事業者であれば、誰でもノードになることができます。

7. 各ノードはネットワークで接続され、Gaia-X採用企業による自由なアクセスと選択、およびこれらのノードが管理するコンプライアンス・データの一貫性を保証します。

クリアリングハウスのご紹介



Aire Networks
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



ARSYS
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



ARUBA
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



CISPE
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



deltaDAO
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



Neusta aerospace
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



NTT DATA
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



OVHcloud
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



Pfalzkom
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



Proximus
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ



T-Systems
による GXDCH

ウェブサイトを見る

お問い合わせ

 インタラクティブ

承認プログラム

Gaia-X承認プログラムは、Gaia-Xコミュニティおよびデータスペースの世界において、認知されたリーダーになるための入り口です。

本プログラムに参加することで、貴プロジェクトはGaia-Xの原則をいち早く取り入れる最前線に立ち、可視性と信頼性を高め、限定的なリソースやネットワークへのアクセスを得ることができます。

このプログラムには、成熟度の異なるすべてのプロジェクトを支援するために、4つの段階に応じた承認レベルが用意されています。それにより、初期段階のイノベーターから確立されたリーダーまで、幅広いプロジェクトが対象となります。

ライトハウス・データスペース

Gaia-Xライトハウス・データスペースは、Gaia-Xの原則および標準に対する模範的な整合レベルを示しており、デジタル主権およびヨーロッパにおける価値創出の推進に対する際立った取り組みを意味します。Gaia-Xライトハウス・プロジェクトのみが、Gaia-X協会に対してライトハウス・データスペースとしての承認申請を行う特権を有しています。

ライトハウス・プロジェクト

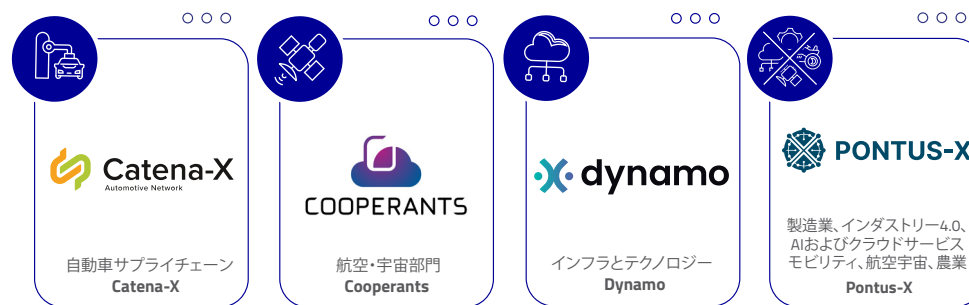
これらのプロジェクトは、透明性、信頼、開放性に基づくデータ交換プラットフォームの構築を目指しています。対象となる産業は、農業、モビリティ、製造業など多岐にわたります。これらのプロジェクトは、統合されたデータ・インフラストラクチャのエコシステムを構築・展開する上で重要な役割を果たします。これらの初期ビジネスケースは、Gaia-Xフレームワークを実装する先行事例であり、将来のライトハウス・プロジェクトに向けた包括的なパイプラインを形成するものです。

認定プロジェクト

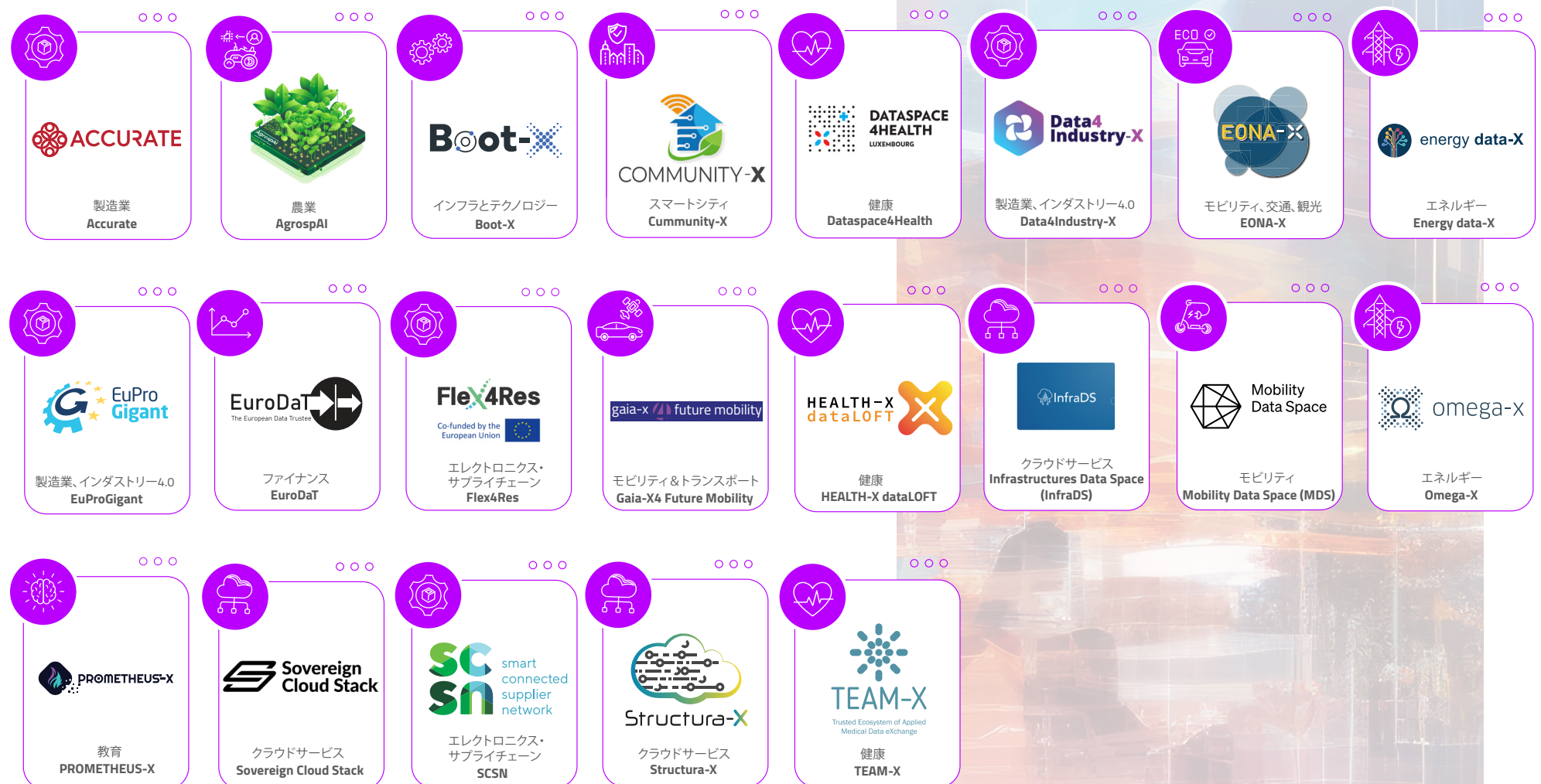
Gaia-X認定プロジェクトの指定は、そのプロジェクトがGaia-Xの原則および技術標準と強固に整合していることを示すものです。これにより、Gaia-Xエコシステム内におけるプロジェクトの位置づけが強化されます。この承認を申請できるのは、プロジェクト・コーディネーターとして活動するGaia-Xの会員に限られます。このことは、彼らがデジタル主権の育成とヨーロッパの価値創出への取り組みに強くコミットしていることを示しています。



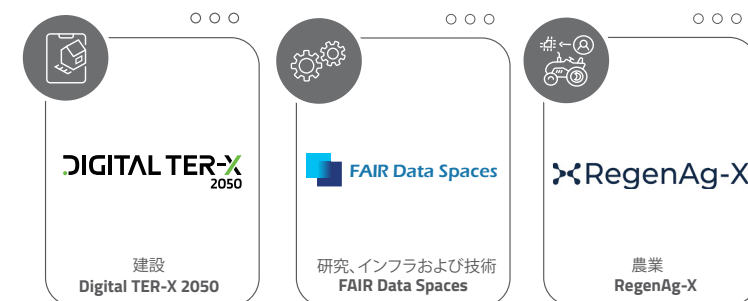
ライトハウス・データスペース



ライトハウス・プロジェクト



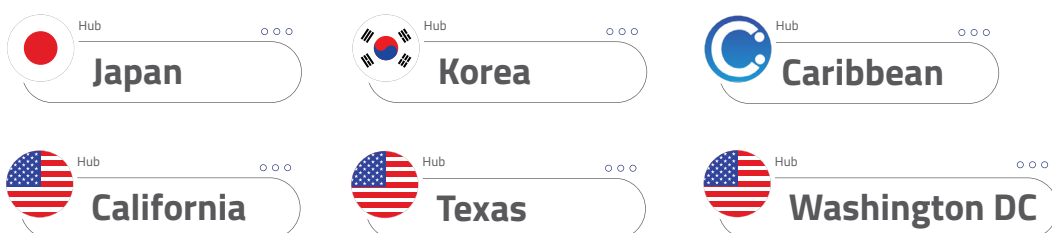
認定プロジェクト



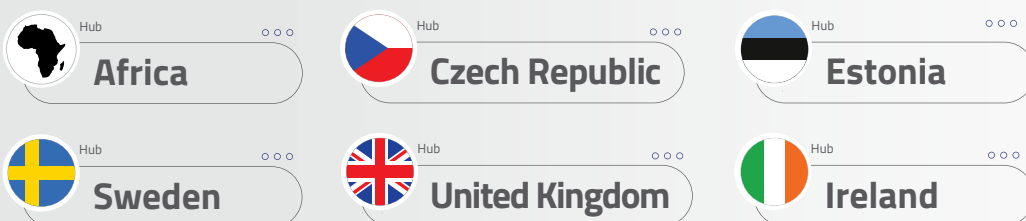
ヨーロッパ 19



インターナショナル 6



進行中 6



Gaia-X・ハブ

Gaia-Xハブは、各国の関係者のための中心的なコンタクト・ポイントです。これらは協会の組織ではありませんがGaia-Xプロジェクトのシンクタンクであり、草の根サポーターであるとみなすことができます。

当協会と各国のGaia-Xハブは協力しています。Gaia-Xハブには、ユースケースに取り組む組織や企業、専門知識やリソースを創造する組織や企業、あるいはステークホルダーとなりデータスペースを創造することに関心のある組織や企業が参加することができます。

Gaia-Xのハブにはいくつかの 以下のような目的 あります。

- Gaia-Xの地域大使としての活動
- 地域固有のニーズと優先度の高いデータスペースの特定
- 他のハブと協力した欧州共通のデータスペースの開発
- Gaia-Xの現実化、プロジェクトの特定、市場へのGaia-Xサービス創出
- 復興レジリエント・ファシリティ (RRF) を実施する地方自治体によるGaia-Xソリューションの最適導入支援
- 当協会への新規会員参加促進
- Gaia-Xフレームワークで実施すべき具体的なニーズや要件に関するフィードバック提供



会員向けの特典

クラウドサービスおよびITプロバイダー、研究機関、スタートアップ、エンドユーザー、業界団体、ロゴ会員などは、さまざまな形でGaia-Xの恩恵を受けることができます。
このセクションでは、該当する特典の概要をご紹介します。

ビジネスおよび組織関連	
1	I年間戦略を策定するBoD (取締役会) 会議へのご招待 ²
2	BoD主催のVIPネットワーキングディナーへのご招待
3	ご要望に応じたCxO (経営幹部) 向け四半期ごとのカンファレンスコール
4	EU助成金申請に向けた推薦状の活用と採択可能性の向上
5	Gaia-X承認プロジェクトとしての認知向上と組織間連携の促進
6	Gaia-Xワーキンググループ／スプリントへの参加と標準策定への貢献
7	IT支援提供における新たなビジネス機会の創出
8	市場におけるポジティブな評価の獲得
9	IT支援提供における新たなビジネス機会の創出
10	ガバナンス支援に関する新たな提供機会の獲得
11	会員間でのRfI／RfP (情報提供・提案依頼) の共有
12	政府諮問委員会を通じた政策的インサイトの獲得
13	データ価値の活用と収益化の促進
技術関連	
1	ワーキンググループを通じた技術仕様策定への貢献
2	Gaia-Xエバンジェリストとしての参画機会
3	Gaia-X認定エキスパートとしての認定機会
4	Gaia-Xアカデミー全コースおよび修了証へのアクセス
5	Gaia-Xアカデミーのカリキュラムおよび教材への要件・意見の提供
6	リポジトリのソースコード上へのロゴ掲載
7	技術サポートヘルプラインの利用
8	GXDCHとしての認定機会
9	Gaia-Xコミュニティへの技術的要件の提供
10	すべてのドキュメントおよびソフトウェアリリースへの先行アクセス

マーケティングおよび広報関連	
1	会員加入を発表するニュースリリースの掲載 (ウェブサイト、会員ニュースレター、SNS)
2	Gaia-Xウェブサイトの会員ディレクトリへの組織プロフィールの追加
3	Gaia-X年次サミットおよび主力イベント (Market-X、Tech-X) における、CxOとの1対1ミーティングの機会を要望に応じて提供
4	Gaia-X年次サミットおよび主力イベント (Market-X、Tech-X) での登壇機会 (すべての申請は運営チームによる審査・承認対象)
5	Gaia-X年次サミットにおけるスピーカーとしての専門性・貢献に基づく記者会見への招待
6	プレスリリースおよびソーシャルメディアでの、イベント参加に関する特集コメントや引用の掲載
7	ユースケース体験談のウェブサイト、会員ニュースレター、ソーシャルメディアへの (ブローシャー、スライド、ポッドキャスト、またはビデオ) 形態での掲載
8	Gaia-Xマガジンへの年2回の特集記事の寄稿
9	あなたの活動内容、ニュース、イベント、動画の、ニュースレターおよびソーシャルメディアを通じたGaia-Xコミュニティへの共有 (メールによる連絡で円滑な配信)
10	Gaia-Xへの専門性および貢献に基づく、ポッドキャスト・インタビューへの招待、および情報発信のためのトピック提案の機会
11	Gaia-Xサミットおよび主要イベントへの無料参加
12	イベント・パートナーシップパッケージに対する割引
13	会員向けウェビナーおよびニュースレター
14	会員専用プラットフォーム上でのコンテンツおよび文書の一元管理
15	実務・専門知識・ナレッジトランスファーのコミュニティへの参加、学習と交流の機会
16	欧州および各国レベルの関連助成金に関する、基本要件から評価基準までを含む月次通知の受信
17	Gaia-X認定ロゴの使用
18	Gaia-X Poweredロゴの使用
19	Gaia-X会員ロゴの使用

1. Gaia-X会員ロゴの使用に限定された特典
2. L欧州会員に限定された特典



Gaia-X

欧州データ・クラウド協会 AISBL

連絡先:



info@gaia-x.eu



www.gaia-x.eu



Avenue des Arts 6-9
1210 Bruxelles, Belgium



ウェブサイトを見る

日本語翻訳監修 一般社団法人データ社会推進協議会 (DSA)